

あとがき

<編集顧問> <編集委員>

越智隆弘	糸満盛憲
小野啓郎	荻野利彦
竹光義治	菊地臣一
守屋秀繁	黒坂昌弘
山室隆夫	清水克時
矢部 裕	高岸憲二
	富田勝郎
	戸山芳昭
	吉川秀樹

<編集同人>

井形高明	澤村誠志
生田義和	杉岡洋一
井樋栄二	田辺剛造
岩田 久	田畑四郎
岩本幸英	玉置哲也
大井利夫	中村耕三
小野村敏信	馬場久敏
加藤博之	浜西千秋
金田清志	廣谷速人
黒川高秀	佛淵孝夫
腰野富久	三笠元彦
紺野慎一	三浦隆行
櫛田喜三郎	持田讓治
酒 匂 崇	山田治基
桜井 実	吉川靖三

いつの間にか暑苦しい酷暑も台風も過ぎ去り、さわやかな秋の日和となりました。今月号が皆さんの手に届くころには姦しかった参議院選挙も自民党総裁選もやや落ち着いて穏やかな政局となっているでしょうか。国会はマスコミに煽られず日本の舵取りとしてもっと大局に立って重要議題を議論してほしいものですが、唯一、期待をもたせてくれた話題は厚生労働大臣に舩添要一氏が任命されたことです。

医療の現場は今、未来不安定なものである病気の治療を前にして、患者の過大な期待と医師本来の献身的な使命感が打ち砕かれそうな風潮との狭間で疲れ切っています。さらに医療費抑制政策をなんとか凌ごうとする必死の病院経営努力をあざ笑うかのように、医療制度も急激に地盤沈下しつつあります。「こんな医療でいいのか日本!」と、医師会側からも大学病院側からも、整形外科方面からも“生の声”を届けたい気持ちです。今の日本、健康は水と同じく確保されているかのように錯覚し、病気を治すのには車を直すよりも金をかけない…、医療費も安ければ医師の技量評価も安すぎます。もっと技量評価を正当に行い、医療の原価計算もやりなおして、報われるようにすべきだと思うのですが…、「現場は医療崩壊現象が起こっている」とおっしゃっている舩添氏のこと、“医療政策の流れ”の一部でも変えてほしい、と願ってしまうのは小生だけでしょうか。と思っていたところ早速、今月号の視座に「開業医から見た、日本の整形外科医療の現状と今後」という貴重な意見(川岸先生)が寄せられました。さっそく今月号を国会や舩添氏に届けたらいいでしょうか。

また、このところにわかにメディアで話題になっている「脳脊髄液減少症」に関係して、ついに外傷性頸部症候群の誌上シンポジウムとしてその具体的な姿が現されてきました。日整会、日本脊椎脊髄病学会などが努力して「真実は何か?」を追求し、冷静に立ち向かっている姿を感じます。

そのほかいつもながら各分野、各切り口からの寄稿に感謝いたします。

まあカリカリせずに食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋を楽しみましょうか…。
(富田勝郎)

臨床整形外科 (第42巻 第10号)

2007年10月25日発行(毎月1回25日発行)

定価 2,520 円(本体 2,400 円+税 5%)

(2007 年ぎめ予約購読料 29,400 円)
(配送料弊社負担)

E-mail rinseige@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinseige>

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 編集室直通 (03) 3817-5702(担当:石井・山崎)

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

ファクシミリ (03) 3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005

広告申込所 (株)医業広告社 電話 (03) 3814-1971

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 2007, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

・ JCS<(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の承諾を得てください。